



多くの会員の方々にぎわった「やまなしサポーターズ倶楽部」

### 「やまなしサポーターズ倶楽部」発足と「やまなしブランド戦略懇話会」設置

県では、9月6日に、本県出身または本県にゆかりのある経済人や文化人の方々からなる「やまなしサポーターズ倶楽部」を発足し、初の交流会を東京・六本木ヒルズで開催しました。交流会では知事が本県の魅力をトップセールスし、本県が誇る県産品や農産物などの「すぐれもの」を改めて実感していただき、「やまなし大使」としてさまざまな機会に本県のPRをしていただくことをお願いしました。

また、県では、これまでに実施してきた地場産業、農林業、観光などの県外向け情報発信・販路拡大事業を集約し、効果的に発信することにより、「やまなし」をブランド化する戦略の策定及び推進体制を整備していく参考とするため、「やまなしブランド戦略懇話会」を設置しました。

この懇話会は、消費のカギを握る女性の視点を反映させるため、さまざまな分野に携わる女性の委員12名で構成され、7月10日には、第1回目の意見交換会が開催されました。

懇話会では、東京で活躍する女性グループとの交流により県外の評価・意見を把握し、知事を本部長とする「やまなしブランド推進本部」に提案を行っていきます。



女性だけで構成された「やまなしブランド戦略懇話会」



開会式で堂々と行進する選手たち

### 秋篠宮ご夫妻と眞子さま御臨席のもと「第41回全日本高等学校馬術競技大会」開催

7月21日、第41回全日本高等学校馬術競技大会開会式が、秋篠宮ご夫妻と長女の眞子さまの御臨席のもと、北杜市にある県馬術競技場で開催されました。

昭和42年から始まった歴史あるこの大会は、高等学校教育の一環として、高校生に馬術競技の機会を与え、競技力の向上と振興、生徒の親睦を図ることを目的に毎年開催されています。開会式で秋篠宮殿下は、「近い将来、皆さんの世代が国際的な大会で大いに活躍されることを期待しております」とあいさつされました。



県の施策説明を熱心に聞く委員の方々

### 女性の知恵や感性を県政に「やまなし女性の知恵委員会」設置

県では、8月7日「やまなし女性の知恵委員会」を設置し初会議を開きました。この委員会は、女性の知恵や感性を県政課題に反映させることを目的に、公募で選ばれた29名の委員で構成されています。

委員の方々は、県の施策説明を聞いた後、「少子化対策」「防災・安全安心」「農業農村の活性化」の3つの班に分かれ、意見交換を行いました。委員会では、今後、班別に検討会を開き、知事に検討結果を提案していきます。



元気にクイズに答える子どもたち

### 県政ひざづめ談議「知事をかこむ小中学生のつどい」開催

8月1日、知事と小中学生とが意見交換を行う「知事をかこむ小中学生のつどい」が身延町総合文化会館で開催され、峡南地域の小中学生約80名が参加しました。

これは、未来の山梨の担い手である小中学生に、本県への理解を深め、ふるさと山梨を愛する心を培ってもらうことを目的に毎年行われている催しです。今回のつどいは、県民の皆さんと知事が、ひざを交えてシナリオのない対話を行う「県政ひざづめ談議」の一環として実施されました。

「もし自分が知事になったら、こんな山梨にしたい」をテーマにした意見交換会では、環境や観光などについて建設的な意見がたくさん提案され、また、知事への自由な質問の時間には、「知事の仕事は何ですか?」といった普段疑問に思っている率直な質問も出されました。

「山梨県についてのクイズ」のコーナーでは、県の特産品である果物や武田信玄などの問題のほか、知事の子どもの頃の得意な学科についての問題も出題され、子どもたちの笑い声につつまれました。



子どもたちの質問に笑顔で答える横内知事



看板設置をする清藤農政部長（右）と山梨県農業協同組合中央会 込山副会長（左）

### 新規就農希望者のさまざまなニーズに応える「山梨県就農支援センター」開設

県では、新規就農希望者の支援機関となる「山梨県就農支援センター」をJA会館南別館に設置し、7月3日に開所式を行いました。

就農支援センターでは、就農支援マネージャーを常時2名配置し、就農を志す青年や団塊の世代、新規参入者などに対し、就農相談、無料職業紹介、就農支援資金の貸付、新規就農者への農地のあっせんなどについて、きめ細やかな相談活動と迅速な情報提供を行っていきます。



柿澤県特別顧問を座長に意見交換が行われた初会議

### 山梨県の観光振興のあり方を検討していく「山梨県観光懇話会」設置

観光ニーズの変化に的確に対応した観光のあり方を検討し、新たな観光振興施策の展開を図るため、県内外の有識者や観光関係者など13名による「山梨県観光懇話会」が設置されました。

7月5日には、第1回懇話会が開催され、「山梨ならではの観光地づくり」などについて、活発な議論が交わされました。委員の方々からの提言は、今年度中に策定する新しい「観光振興計画（仮称）」に反映させていきます。